

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	飯豊町役場 総務課 総務財政室
実習期間	令和 2年 2月 19日 ～ 令和 2年 2月 26日
学生氏名	栗野 輝
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政運営に関する業務体験 (予算関係業務、給与関係予算チェック) ・ 現場見学 (町内小学校のエアコン整備の見学、防火栓・防火水槽の点検、バイオガス発電施設・畜産生産拠点の見学) ・ 行政職員の方とのお話 (SDGs 参画・各種事業体系との絡めたお話) ・ 窓口業務の体験 (住民票・戸籍・印鑑登録業務、医療関係書類の確認)
学び・気づき (300字程度)	<p>私は、5日間の実習を通じて自治体の「行財政運営に関する事理解」だけにとどまらず、自治体運営に関する手法を多面的に捉えることができた。限られた実習期間ではあったが、総務課での「予算関係業務」を中心に幅広く業務を体験した。初めに「予算関係業務」では、書類中に記載されている各予算額に誤りがないかどうかを確かめていくことによって、予算書作成における複雑性や地道さを学び取ることができた。一方、各種現場見学では、施設巡りや作業体験を通じて、より直接的に自治体業務を体験することができた。一つの自治体における事業や取り組みに関することを、内と外から総合的に学ぶことができた。</p>
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>私は、インターンシップを通じて、3つの力(会話力、論理的思考力、自文化理解力)を伸ばしていくことを目標に取り組んだ。自身の活動を振り返ってみると、「論理的思考力」や「自文化理解力」に関しては、予算業務や各種現場見学を通じて伸ばしていくことができたが、その一方で「会話力」についてはまだまだ発展途上であり、これからの学生生活の中での改善が求められると感じた。今後は、前述したことに重きを置き、希望進路の実現に向けて邁進していきたい。</p>
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>私は飯豊町役場での研修を通じて、これまでは予想もしていなかった自治体の業務体制や役割の裏側について改めて再認識することができた。それは、主に「現場見学」である。私自身、自治体の業務というと少し堅苦しく、スーツを着た職員の方が一日中、デスクワークをしているイメージが強かった。しかし、各担当課の方と体験を行っていく中で、それ以上の発見や収穫を得ることができた。地域の小学生の安全や防災、先進事業の実態に至るまで幅広く見学した。「現場見学」には、庁舎中での体験だけでは決して得ることができないものが多くあり、将来の進路選択や経験蓄積の材料となり得る点が魅力である。</p>

写真 (1～3点)

飯豊町役場(正面から)

